

R. K. メディア創造学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

両親が留学していたことがきっかけで、小さい頃から留学に興味を持っていました。新しいことにチャレンジすると決めていた大学時代に、長年興味があった留学に挑戦しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS の公式問題集をベースに、大学一年生から自主学習を進めていました。Writing は、IELTS 協会から提供されている数回パックの学習・添削サポートで、Writing のテンプレート・語法を身につけました。Speaking は、かなり苦手意識があり、レアジョブに入会して週 1-2 回、日常会話や IELTS 型式の練習をして対策していました。（参考：単語帳「文脈で覚える IELTS 英単語」）

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

Reading：単語帳についている短文を定期的に読んでいました。

Listening：NY 在住 YouTuber の Vlog をほぼ毎日見ていました。

Writing：IELTS 受験後は特に何もしていません。

Speaking：レアジョブでの英会話を継続していました。

◆ ビザ申請方法

UNSW へのビザ申請は、同女が XL エデュケーションという斡旋業者さんと提携しているため、そのスタッフの方と主にやりとりしていました。私が個人情報を伝え、それを XL エデュケーションの方が UNSW へ申請してくださるという形でした。申請については、私の場合とてもややこしく、出発前までに学生ビザを申請できなかったのも、最初 3 か月は観光ビザ（ETA）、その期間のうちに、学生ビザを申請しました。XL エデュケーションの方が基本的に対応してくださったので安心でしたが、どこまで自分でやるのか、質問は大学か XL エデュケーションにお伺いするのか、混乱したことが多くあったので自分で申請するという選択肢も国際課の方に相談してみてもいいと思います。

◆ その他

渡航準備において、特にしたことはありませんが、ホストファミリーや友達に配れるようにお土産を買っておきました。3 年秋からの留学だったので、就活の準備を継続していました。渡航後は、かなり時間がないので、ES を完璧にしておけばよかったなと思っています。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

ホームステイに送迎サービスがついており、20 分程度で到着しました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

到着日の翌日、1 日だけオリエンテーションがありました。UEEC（語学研修プログラム）のオリエンテーションでは、授業の進め方やテストのスケジュールなどが説明され、その後、キャンパスツアーが行われました。O week という、日本での新歓のようなものが、キャンパスで開催されるので、それにも少し参加しました。

◆ その他必要な諸手続き方法

口座開設：私は、Commonwealth Bank を利用しました（学生は年会費が無料だったから）。他にもいくつか大手銀行があるので、調べて自分にあったものを選ぶと思います。
送金：日本からの送金は、“Wise” というアプリを利用していました。一度、銀行窓口から送金したこともありましたが、手続きがややこしく手数料も高いので、アプリ利用をお勧めします。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

UNSW のプログラムでは、UEEC という語学研修に参加します。UEEC は、主に UNSW の大学院を目指す人が所属しています。施設は、メインキャンパスにとっても近く、建物も綺麗です。自習室やキッチンスペース（冷蔵庫や電子レンジ完備）もあり、かなり快適に過ごすことができました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は、毎日月曜日～金曜日の 11:00～15:30（13:00～13:30 はランチタイム）です。UEEC20、UEEC15、UEEC10 と区切られたプログラムで Reading, Listening, Discussion, Presentation, Writing を学びます。

- ・UEEC20～15 までは、本当に基礎ベースの内容（基本的な文法など）で、ロールプレイングの Discussion や、3、4 人のグループでオーストラリアの特徴について Presentation をしました。

- ・UEEC15～10 は、UEEC20 の発展バージョンで、自分の学部に関連した内容に触れることが増えます。

- ・UEEC10 は、UEEC 卒業に向けて少し厳しくなります。基準のスコアを取らないと卒業できないため、Writing や Discussion など、より大学で求められるレベルに向けて練習を重ねます。課題は、20 週間を通して、週末にクイズがあったり、Writing のために論文を読んだりといった準備があります。（各週でばらつきがあります。）UEEC10 でのアセスメントが各科目で基準スコアを満たすことなので、課題はかなりプレッシャーです。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

メインキャンパスは、カフェやジム、ミニスーパーなどが併設されており、とても綺麗で充実しています。毎週とっていいほどイベントが開催されていて、日本では味わうことのない活気あふれたキャンパスライフを過ごすことができると思います。

◆ 履修科目について

・MDIA1090 Media, Culture & Everyday Life

内容：テレビやSNSなどのメディアが、人々にどのような影響を与え、私達はそれをどう読み解き、行動に反映させているのかについて、各週のテーマに沿って Discussion 形式で分析しました。

課題：各週、前の週の内容を振り返ったクイズ（個人とグループ）と、中間レポート（授業で扱われた本の章題に対しての感想と意見 1000 字程度）

最終課題：お題に対するエッセイ作成(2000 字程度)・(例,「今日のオンライン化への変化は、監視社会にどのような変化をもたらす可能性があるか」)

・MGMT2102 Management Across Culture

内容：多国籍な環境でビジネスをおこなう際に、国・地域ごとの文化の違いを理解しながら、どのようにチームをマネジメントするかについて学びました。授業は、各週ふり分けられたチームでケーススタディをもとにプレゼンテーションを行い、それに沿って Discussion を行いました。

課題：各週、チームごとの Presentation と、中間レポート（ケーススタディの分析）

最終課題：授業のコンセプトを含めた 2 国間の比較レポート（1200 字程度）

・MGMT2010 Innovation and Entrepreneurship

内容：スタートアップ企業の始め方や、ビジネスを始める構造などを学びながら、グループで実際に架空のビジネスを考え、HP の作成や、プロモーション方法を考えました。

課題：HP の作成、クイズ、ビジネスの需要を調査する仮説とテスト結果をまとめたレポート

最終課題：形にしたビジネスのプロモーションの撮影動画

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ：食、スポーツ、音楽など本当にさまざまなジャンルのクラブがあります。クラブや学内のイベントは、Arc という学生団体が運営しているので、Arc のサイトか、インスタグラムが情報収集しやすいと思います。(Instagram：@arcunsw)

課外活動：私は、チアダンスを大学まで続けていたこともあり、現地でもクラブチームに所属しようか悩み、数回練習に参加しました。挑戦してみたいことがあれば、調べて連絡を取

ってみるのもとてもいいと思います！

ボランティア：ボランティアにとっても挑戦しやすい環境だと思います。私はボランティアサイトに登録したのですが、参加したいプログラムに日程が合わず断念しました。友達は、写真展覧会の会場スタッフのボランティアに参加していました。これらのボランティアは、私も友達も NSW（ニューサウスウェールズ州）の公式サイトで検索しました。たくさんの種類のボランティアがあるので、探しやすいと思います。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 語学研修期間

ホームステイ：3 人家族（老夫婦とその息子）のお家で私ともう一人、香港からの男の子がいました。家が広かったので、男女でバスルームが分かれており、個人の部屋もありました。食事は、朝夜ごはんを用意してもらっていました。外食するときは、連絡をいければ大丈夫でした。学校までは、バスを利用しており、20 分程度でした。

◆ 正規科目履修期間

寮(Barker Apartment)：様々なタイプの寮・部屋がありますが、私は、5 人でシェアでした（アメリカ-2 人、中国-1 人、バヌアツ-1 人）。各個人部屋があり、バスルームとキッチンがシェアでした。食事は、3 食自炊していました。学校内の寮だったので、徒歩で通学できとても便利でした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

12 月と 2 月に 2 回、1 週間ほどの休暇がありました。1 回目は、友達とオーストラリア内の旅行し、2 回目は、家族が来てくれたので一緒に過ごしました。その他、クリスマスにはホストファミリーのホームパーティに参加したり、シドニー市内へ友達と遊びに行ったりしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学に行く決めていたので、早くから準備するために、大学 2 年生の夏から説明会などには少しずつ参加していました。留学中は、3 年生で留学したこともあり、9 月からオンラインでしっかり就活をしていました。私の場合、留学中にできるだけ就活を進めるという目標があったので、留学中も就活に時間をとっていましたが、両立はかなり大変だったので、年次と自分の意思次第で、留学に専念して帰ってきてから就活を始めてもいいと思います。ただ、留学中に就活を進めることは不可能ではなく、私は、3 次面接や最終面接手前まで進めることができ、周りとの差がなく内定をもらうことができました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

人との出会いが一番の思い出です。新しくできた友達や、ホームステイ先の家族など本当に

たくさんの人に出会うことができ、様々な国の人と親しくなることができたのは、留学に行った価値を感じた瞬間です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

正規授業でディスカッションに参加することは、毎週とても怖かったです。UEEC で語学力は上達していましたが、ネイティブの中で同じように振る舞うには、みんなの発言を理解するのに、それに対する自分の意見をまとめるのもスピードが全く追いつかず、苦戦しました。周りのみんなはとても優しいのでサポートしてくれますが、その分力になれない自分がとても悔しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

多国籍国家なので、様々な文化が混じりあっていてとても面白かったです。想像以上に多国籍だったことがギャップでしたが、本格的なアジア料理を試すことができたりしてとても良い経験になりました。お店は大体 17 時頃に閉まるが多かったのも印象的でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：勉強の面でも、ソーシャルコミュニティにおいても素晴らしい大学だったと感じています。講義と実践が同じ週に行われ、本当に身になるカリキュラムだったと思います。様々な国の学生とコミュニケーションをとることができた事も、留学の醍醐味でした。
悪かった点：思いつかないくらい素敵でした。私の場合、周りに日本人がとても少なく最初は心細く感じましたが、英語を学ぶという面ではありがたかったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。授業は主にデバイスで進められるので、無いと何も始まらないと言っても過言ではありません。服は、現地で買いたいと思いあまり持っていきませんでした、個人的にオーストラリアのブランドはあまり興味が湧かなかったのと、生地が良くなかったのも、もっと日本から持って行っておけば良かったと思いました。その他、雑貨類（100均グッズ等）も現地調達しようと思いあまり持っていきませんでした。確かに現地でなんでも手に入りますが、基本的に日本より高いので、持っていけるだけ持参すれば良かったと思っています。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は、向上したと言い切れます。私は、留学前は、全くと言ってよいほど話せませんでした。現在は、ネイティブレベルにはまだ程遠いですが、日常会話であれば、コミュニケーションをとることができる程度にはなっていると感じています。特にリスニング力が上達しました。帰国直前に字幕なし映画を見にいきましたが、内容をほぼ理解できました。語学力以外の面では、コミュニケーション力・行動力が一番身についたと思います。人間関係の形成

を 1 から始めないといけない状況で、自分で行動しないと何も始まらなかったのも、コミュニティやイベントに参加し、コミュニケーションを取る機会を多く設けました。留学前後では、日本に対する考えの変化も感じています。日本はいい国だと漠然と感じていましたが、考えの柔軟さやお給料の平均水準の面で、個人的にオーストラリアの方が魅力的に感じるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

大学・国選びは、とても重要だと思います。私は、IELTS の点数を伸ばすことができず、コロナの影響もあり UNSW 一択でした。幸いにも最高の環境であったため、満足した留学生活を送ることができましたが、余裕を持って高い点数を取った上で、自分で選択できる状況にしておくことが、後悔のない留學生活につながると思います。留學先選択の方法については、自分がどんな環境で何を学びたいのかを、難しいですがしっかり想像することが大事だと思います。都会か田舎か、大規模大学か小規模大学かによってプライベートの過ごし方も得られる経験もかなり変わってくると思うので、たくさん情報収集した上で選択できると思います！留學に少し興味があって迷っている人や、不安を抱えている人がいるかと思いますが、ぜひ勇気を出して挑戦してみしてほしいと思います！このレポートを見て、留學に少しでも前向きな考えを持ってもらえたら幸いです。もし UNSW やシドニーへの留學について、詳しく聞きたいという方がいたら、国際課を通じてご遠慮なく質問してください！！

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

休學と留學の関係で 2024 年 9 月に卒業後、10 月に IT 企業へ入社予定です。様々な事業を展開している企業なので、海外の人と日本をつなぐような事業に携わりたいと考えています。UNSW で様々な国の人とコミュニケーションを取る経験を得たので、最終的には、多国籍なチームをマネジメントしながら、サービスや商品を多くの人に提供したいと考えています。

V. 写真



ホストファミリーのクリスマスパーティーに参加した様子。ポルトガル出身のファミリーだったので、ポルトガル料理を楽しみました！



大学で行われているイベントの写真です。キャンパス内では、このように本当に様々なイベントが頻繁に行われており、ドーナツやホットドックなどフリーフードをもらえることがよくあります！



1月1日に友達とビーチに行きました。日本と全く違う元旦の過ごし方を体験できてとても新鮮な気持ちでした。



UNSW の post Graduate 団体主催のボートパーティに参加しました。船からオペラパークやハーバーブリッジが見え、とても綺麗でした。



12月のクリスマスホリデーに、友達とゴールド・コーストへ旅行に行きました。これはMovie worldにある、大好きな映画「チャーリーとチョコレート工場」のショップの前での写真です。